

その他重要事項の進捗状況

1

その他重要事項の進捗状況

(1)この水系における適切な水利用の安定性を確保するためには、需要と供給の両面から総合的な施策を講ずるものとする。

(2)水資源の開発及び利用を進めるに当たっては、水源地域の開発・整備を通じた地域活性化を図ること等により、関係地域住民の生活安定と福祉の向上に資するための方策を積極的に推進するとともに、ダム周辺の環境整備、水源の保全かん養を図るための森林の整備等必要な措置を講ずるよう努めるものとする。

■ 水源地域の開発・整備を通じた地域活性化

●木曾三川水源地域対策基金

【事業内容】

1. 関係地方公共団体等が講ずる水没関係住民の不動産取得に必要な措置に対する資金の貸付け、交付等の援助
2. 関係地方公共団体等が講ずる水没関係住民の生活安定に必要な措置に対する資金の貸し付け、交付等の援助
3. 関係地方公共団体等が講ずる水没関係地域の振興に必要な措置に対する資金の貸付け、交付等の援助
4. 水没関係住民の生活再建又は水没関係地域の振興等に必要調査及びその受託
5. その他基金の目的を達成するために必要な事業

【設立許可年月日】

昭和52年9月27日

【構成団体】

岐阜県、愛知県、三重県、名古屋市

【基金事業対象ダム】

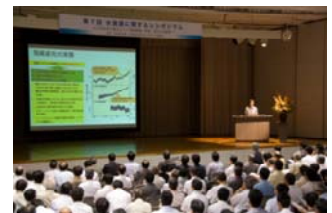
阿木川ダム、味噌川ダム、徳山ダム、長良川河口堰、新丸山ダム

【近年の実施内容】

1. 流域活動推進等業務

①水資源及び水源地域対策に関するシンポジウム協賛

- ・第7回水資源に関するシンポジウム
(国土交通省：平成19年)



(第7回水資源に関するシンポジウム)

②ダム等に関連するイベント後援

- ・サマーキャンプ in KISOGAWA(味噌川ダム)
(平成12年～)
- ・徳山ダム湖底コンサート(平成18年)



(サマーキャンプinKISOGAWA)



(徳山ダム湖底コンサート)

2

その他重要事項の進捗状況

■ 水源地域の開発・整備を通じた地域活性化

●水源地域対策特別措置法

ダム等の建設によって、その基礎条件が著しく変化する水源地域について、生活環境、産業基盤の整備等特別の措置を講じることによって、ダム等の建設の促進を図ることを目的に昭和48年に制定

木曾川水系では、阿木川ダム、徳山ダム、新丸山ダムが水源地域対策特別措置法の適用をうける「指定ダム」に指定され、水源地域整備計画に基づき事業を実施

水源地域整備計画事業は、阿木川ダムについては平成8年度に、徳山ダムについては平成19年度に完了し、新丸山ダムについては継続実施中

●水源地域対策特別措置法に基づく指定ダム等の概要

ダム等の名称	新丸山ダム	徳山ダム	阿木川ダム
水系河川名	木曾川水系木曾川	木曾川水系揖斐川	木曾川水系阿木川
事業主体	国土交通省	水資源機構	水資源機構
ダム高	122.5m	161.0m	101.5m
総貯水量	14,635万 ³	66,000万 ³	4,800万 ³
目的 ※	F, N, P	F, N, W, I, P	F, N, W, I
ダム等の所在県	岐阜県	岐阜県	岐阜県
水没地区所在市町村	八百津町、御嵩町、 恵那市、瑞浪市	揖斐川町	恵那市、中津川市
水没総面積	132ha	1,520ha	178ha
水没戸数	32戸	511戸	30戸
水没農地面積	3ha	134ha	27ha
ダム等の指定年月日	H2.3.26	S52.3.23	S49.7.20
水源地域指定年月日	H5.11.10	S59.2.10	S53.2.8
整備計画の決定年月日	H6.1.21 H14.3.18一部変更	S59.3.27	S53.3.25 H元.3.24一部変更
予定工期	H5年度～H28年度	S59年度～H18年度(完了)	S52年度～H8年度(完了)

※ F:洪水調節、N:流水の正常な機能の維持、W:水道用水、I:工業用水、P:発電

3

その他重要事項の進捗状況

■ 水源地域の開発・整備を通じた地域活性化

●水源地域ビジョン(国、水資源機構)

木曾川水系のダム(丸山ダム、横山ダム、岩屋ダム、阿木川ダム、味噌川ダム、徳山ダム)において、ダムやダム周辺の豊かな自然及び水源地域の自立的・持続的な活性化を図るため、国土交通省、(独)水資源機構が中心となり、水源地域の自治体、住民等と連携して「水源地域ビジョン」を策定し、ダムを活かした水源地域の活性化に向けて様々な取り組みを実施

ダム名	策定日	取り組みの概要
味噌川ダム	H14.3.28	【木曾川源流の里ビジョン】 遊牧民プロジェクト(仲間作り、情報収集・発信)、四季の彩プロジェクト(景観形成、環境保全)、源流の里体験・学びプロジェクト(体験学習のプログラム開発)、食の塩梅プロジェクト(商品の開発)を実施。
岩屋ダム	H15.3.26	【岩屋ダム水源地域ビジョン】 貯水池周辺の流木伐採(景観確保)、馬瀬川(ダム湖周辺)の清掃活動、下流域利水者による植樹地の保全活動
横山ダム	H15.7.25	【横山ダム水源地域ビジョン】 親水施設整備(藤橋エリア、坂内エリア)、上下流域交流ツアー
阿木川ダム	H16.3.5	【阿木川ダム水源地域ビジョン】 関係自治体による河川やハイキングコースの清掃、ロードレース、ホテル祭り、さわやかウォーキング等各種イベントの開催、空芯菜による水質浄化実験、広報誌の発行などを実施。
徳山ダム	H19.2.15	【揖斐川水源地域ビジョン】 水源地の自然環境保全事業、自然環境保全教育・研修事業、水源地を活用した調査・研究協力事業、治水・利水及び水源地の環境保全の重要性普及啓発事業、自然を活用した水源地域の活性化事業、情報収集・発信事業を実施。
丸山ダム	H19.2.26	【丸山ダム水源地域ビジョン】 地域内での交流活動の推進プロジェクトとして、「まちづくり八百津」ネットワークが発足。



原石山での植樹活動(徳山ダム)



ダム斜面を上るウォーキングイベント(阿木川ダム)

4

その他重要事項の進捗状況

■ 水源地域の開発・整備を通じた地域活性化

● 徳山ダム「揖斐川水源地域ビジョン」の取り組み

- ・ 揖斐川水源地域ビジョンは、徳山ダム上流域を核とする揖斐川水源地域において、水源地域の保全と活性化を積極的に推進することを目的に平成19年2月策定
- ・ 流域住民、NPO法人等の各種団体、関係行政機関、水源地域自治体、ダム事業者等が相互の連携・協力のもと、ビジョンの着実な推進を図るために「揖斐川水源地域ビジョン推進協議会」を設立してビジョンの取り組みを進めている

主要なプロジェクト

①日本のどまん中を支える大切な自然環境の保全



水環境の保全



ダム機能保全のための
森林の保全整備



自然生態系の保全

②日本一の水と森に感謝し、学び、やすらぐ場として活用



学習の場の提供



研修の場の提供



健康とやすらぎの
場の提供

③広域で継続的な交流・連携の推進



活動を通じた上
下流交流



教育交流の推進

④水源地域の魅力を活用した産業の振興



楽しめる場の提供



観光振興

⑤みんなが支え、みんなを支えるための取り組みを推進



情報発信



人材育成

5

その他重要事項の進捗状況

■ 水源地域の開発・整備を通じた地域活性化

● 味噌川ダム「木曽川源流の里ビジョン」の取り組み

- ・ ダムを生かした水源地域の自立的・持続的な活性化を図り、木曽川流域内の連携と交流によるバランスのとれた流域圏の発展を図ることを目的として、水源地の自治体・住民等がダム管理者と共同で策定主体となり、下流の自治体や関係行政機関等に協力を求めながら推進する水源地域活性化のための行動計画を策定(平成14年3月)
- ・ 平成14年度から「木曽川源流の里ビジョン」を推進してきた、「木曽川・水の始発駅フォーラム」の発展的解消を行い、平成22年度新たに「NPO法人木曽川・水の始発駅」を設立

■ 木曽川源流の里ビジョンの取り組み状況



木曽川本川でピオトープ整備を実施(平成15年度～)



川の整備により生まれ変わった川を活かしたカジカガエルコーラスまつりを実施(平成21年度～)



奥木曽湖の自然に親しむ目的でカヌー体験会や大会を開催(平成15年度～)



木祖村住民が主体となり年5回程度、草刈等川の整備を実施(平成15年度～)



木曽川源流の鉢盛山登山を一般の方にも親しんでもらうためのイベントを開催(平成17年度～)



木祖村の自然の素晴らしさを再認識してもらうため味噌川ダム周辺で星空観察(平成15年度～)

6

その他重要事項の進捗状況

■ ダム周辺の環境整備

● 地域に開かれたダム事業(横山ダム)

横山ダム「地域に開かれたダム事業」は、ダム湖周辺の憩いの場を提供することで、地域の活性化を図る事業として平成9年度に「地域に開かれたダム」の指定を受け、平成12年度から工事を開始し、平成16年度に事業完成

(内容)

ダムが地域にとってより密着した施設となるように自然と山村文化を保ちながら、自然と共生する水と緑の交流、生涯健康の里として整備

【坂内川地区】

横山ダムの掘削土砂置場を有効活用し、清流の鑑賞、釣り等の利用、子供達の親水性を高めた公園として親水護岸、散策路、芝生広場等を整備



【藤橋城周辺地区】

藤橋城は揖斐川町の観光施設の一つであり、プラネタリウムや天文台、歴史民俗資料館等があり、休日は多くの観光客でにぎわう場所であることから、町の観光施設にあわせ、地域のシンボルである「どんどん橋」を背景に、親水公園として親水護岸、散策路、芝生広場等を整備

【横山ダム周辺地区】

横山ダムについて理解を深めて頂くため、流域の案内図やダム事業説明等を展示し、中空重力式ダム内部を安全に見学できるようにスロープ、案内看板等を整備



7

その他重要事項の進捗状況

■ ダム周辺の環境整備

● 徳山ダム周辺の自治体による整備

岐阜県揖斐川町では、旧徳山村(全村水没)で使用していた山村生産用具(国指定重要有形民俗文化財)の展示施設のほか、徳山ダムやその周辺の山林の良好な自然環境などを利用して、様々な体験学習や研修等に利用できる宿泊施設やレストランなどを整備



8

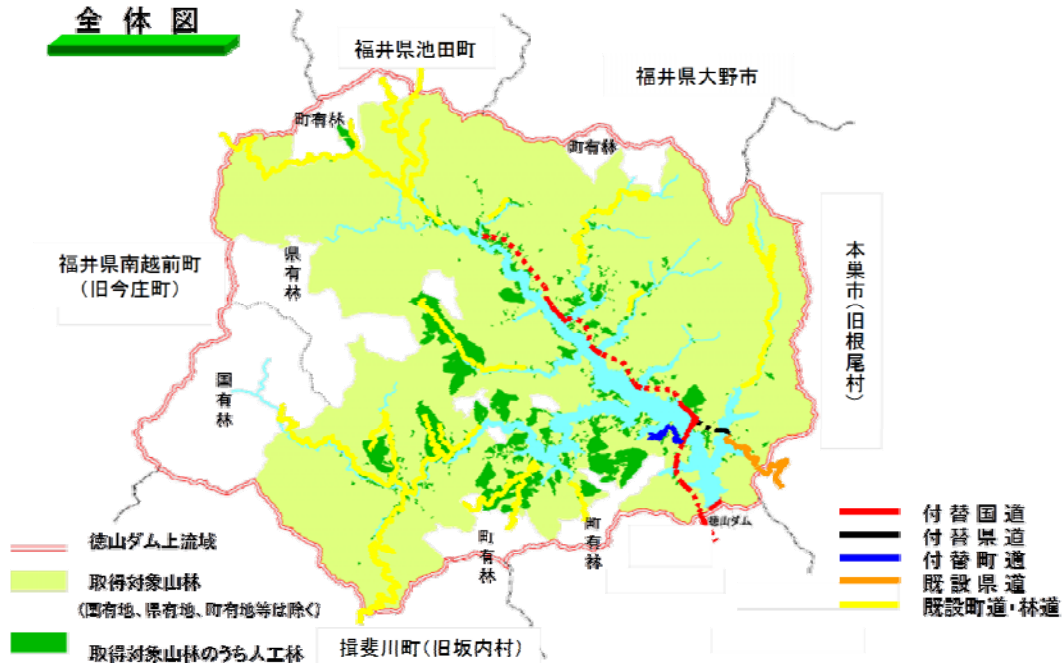
その他重要事項の進捗状況

■ 水源の保全かん養を図るための森林の整備等

● 徳山ダム山林公有地化事業(岐阜県)

岐阜県では、水源地の斜面の荒廃防止、良好な自然環境の保全・創出及び新たな交流拠点としての活用を図るため、徳山ダム上流域(約254km²)における民有山林(約180km²)の用地取得を実施中(平成17年度～)

平成21年度末までの民有山林の用地取得率は約76%



9

その他重要事項の進捗状況

■ 水源の保全かん養を図るための森林整備

● 木曽川「水源の森」森林整備協定

上下流の自治体が協力して木曽川の水源地域における森林整備を促進し、水資源の安定的な確保と健全な水循環型社会の構築を図ることを目的として、平成15年2月、森林整備協定を締結

協定締結者	構成市町村 ※3	役割
木曽広域連合	木曽福島町、上松町、南木曽町、楢川村、木祖村、日置村、関田村、三岳村、王滝村、大湫村、山口村	<ul style="list-style-type: none"> ○市町村と連携した森林整備の推進 ○森林整備に対する基金の創設等 1 ○森林資源の有効活用に向けた取組 ○上下流交流活動の実施 ○普及啓発活動の実施
愛知中部水道企業団	豊明市、日進市、東郷町、長久手町、三好町	<ul style="list-style-type: none"> ○上下流の森林整備に活用するための水道水源確保保全基金の積み立て等 2 ○上流域の森林整備に対する支援 ○上下流交流活動の実施 ○普及啓発、ボランティア活動への支援

- ※1. 下流域の基金造成を受け、上流域でも基金造成を実施。
- ※2. H13年6月から、10年間で3億円の基金造成を目標として水道料金に1円/m³の上乗せをして積み立てを行っている。
- ※3. 構成市町村は、協定締結当時(H15年2月)のもの

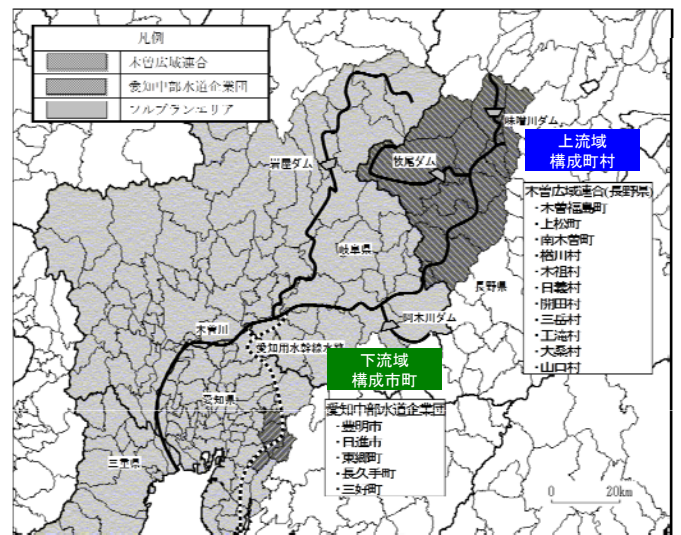
【協定事業内容と実施状況】

○ 森林整備の促進

- ・平成17年度から平成21年度の5年間で約4,100haの森林を整備
- 上下流の交流活動、森林に対する啓発活動の推進
 - ・「木曽郡植樹祭」への協賛(平成18年～毎年実施)
 - ・下流域構成市町の住民による育樹作業(平成15年～毎年実施)
 - ・下流域構成市町の産業祭りへの参加

● 植樹活動

- ・木祖村・日進市合同育樹祭
- ・上下流交流「木曽川さんありがとう」の取り組み(名古屋市)
- ・民間企業による植林活動((株)スミ設備:名古屋市)



(木祖村・日進市合同育樹祭)



(上下流交流「木曽川さんありがとう」)

10

その他重要事項の進捗状況

(3)水資源の開発及び利用に当たっては、流域単位での健全な水循環を重視しつつ、治水対策、河川環境の保全、水力エネルギーの適正利用及び水源地域から下流域を含めた適正な土砂管理に努めるとともに、既存水利、水産資源の保護等に十分配慮するものとする。

■ 河川環境の保全

●河川環境関連事業の状況

事業名	事業主体	河川名	県名	実施年度	事業内容
自然再生事業					
	国交省	木曾川、長良川、揖斐川	愛知 岐阜 三重	H14～	干潟再生、ヨシ原再生、魚道改築、貴重種対策等
地域連携事業					
	国交省	木曾川	岐阜	S46～	高水敷整正、親水護岸、緩傾斜堤等
			愛知 三重	S47～	
		長良川、揖斐川	岐阜	S46～	

●自然再生事業(河川環境の保全と整備)

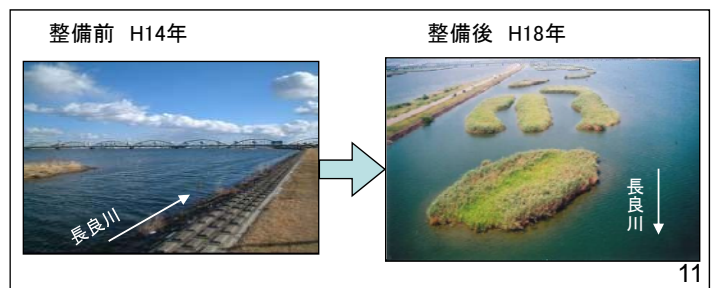
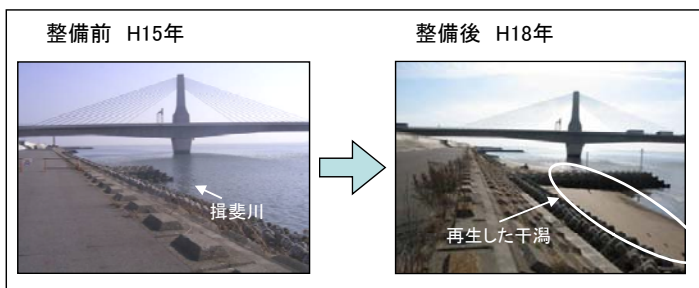
良好な自然環境の保全を図りつつ、失われるなどした環境の再生に努める。自然再生事業については、環境の悪化状況や生物の生息・生育・繁殖状況等の重要度により優先度を設定し、保全再生に努める。

(河川環境の整備)

砂礫河原の再生、ワンド等の水際湿地の再生、干潟の再生、ヨシ原の再生、連続性の確保(揖斐川・根尾川)などを順次実施。

干潟再生(揖斐川:三重県桑名市長島町付近)

ヨシ原再生(長良川:三重県桑名市付近)



その他重要事項の進捗状況

■ 河川環境の保全

●外来種の駆除の取り組み

市民団体である木曾三川フォーラム長良川分科会の主催のもと、関係機関(国土交通省、岐阜県、岐阜市)及び地域関係者が参加して外来魚の駆除実験を実施(平成20年度～)

駆除対象は外来生物法で特定外来生物に指定されたブラックバスとブルーギル

駆除実験実施日	実施河川
平成21年 3月 1日	揖斐川支川杭瀬川
平成21年 9月27日	長良川支川雄総川
平成21年10月 4日	木曾川
平成21年10月11日	木曾川
平成21年10月18日	木曾川
平成21年10月25日	長良川支川伊自良川

●特定外生物移入防止に関する取り組み

徳山ダムでは、揖斐川水源地域ビジョンの取り組みの一環として、特定外来生物の移入防止の理解を深めるため地域住民等を対象とした研修会を開催(平成20年度～)

●クリーン活動

住民、自治体、管理者等の連携・協働による川づくり～まちづくりをテーマにゴミ拾い活動を実施

平成11年に長良川で始まったクリーン大作戦も、平成21年度で10回目を数えた

11河川2海岸部にわたる『川と海のクリーン大作戦』に成長、10年間での参加累計人数は約42万人、集めたゴミも約5,300トンにものぼる



(揖斐川支川杭瀬川塩田橋付近)

(長良川支川伊自良川合流部付近)

(木曾川河口部付近)

(長良川水系伊自良川)

外来魚駆除実験の状況

一斉清掃活動状況